

# 新型コロナウイルス流行に伴って実施された一斉休校に関するアンケート

## 集計結果

【対 象】 町内すべての小・中・高等学校に通うお子さんがいらっしゃる保護者

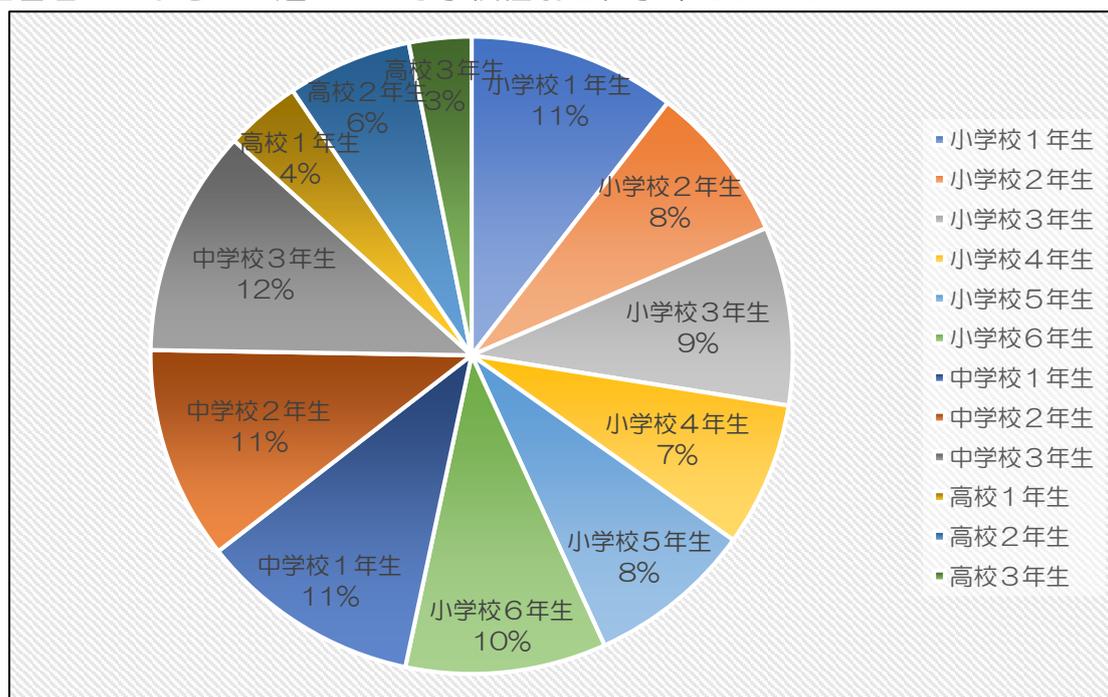
【調査期間】 令和2年7月28日（火）～8月30日（日）まで

【調査主体】 八雲町地域教育力活性化推進協議会

【回答方法】 WEBアンケートによる回答（小中高等学校を通し、各家庭へ調査依頼文を配布）

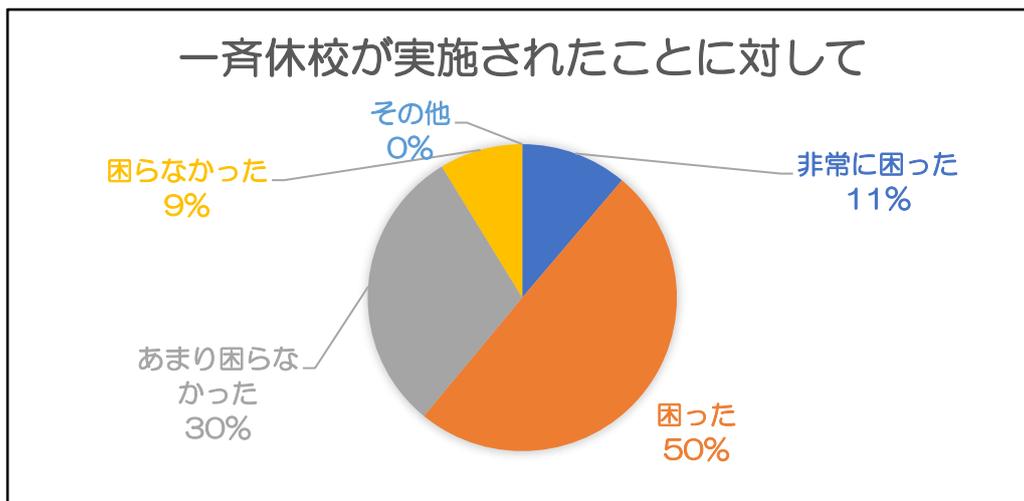
【集 計 数】 287件（対象となる母数 1,306名）

### 設問1 回答者のお子さんが通っている学校種別と、学年について



	回答数	回答割合	学年内回答割合	対象数 (人)
小学校1年生	30	10.5%	27.0%	111
小学校2年生	23	8.0%	20.4%	113
小学校3年生	26	9.1%	25.0%	104
小学校4年生	21	7.3%	18.6%	113
小学校5年生	24	8.4%	22.4%	107
小学校6年生	29	10.1%	23.8%	122
中学校1年生	32	11.1%	36.0%	89
中学校2年生	31	10.8%	23.5%	132
中学校3年生	33	11.5%	25.0%	132
高校1年生	11	3.8%	14.7%	75
高校2年生	18	6.3%	20.7%	87
高校3年生	9	3.1%	11.3%	80

設問2 一斉休校が実施されたことに対し、当てはまるものを選んでください。



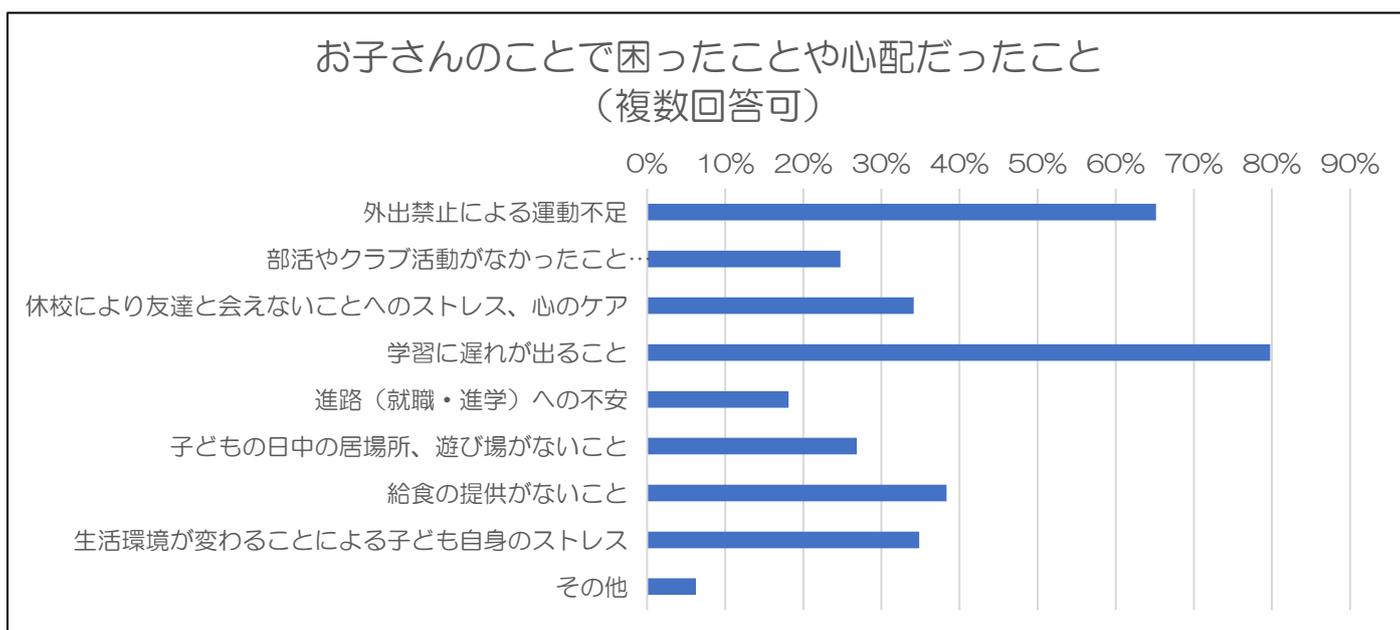
非常に困った	32 回答	11.1%
<b>困った</b>	<b>143 回答</b>	<b>49.8%</b>
あまり困らなかった	87 回答	30.3%
困らなかった	25 回答	8.7%
その他	0 回答	0.0%

調査主体である八雲町地域教育力活性化推進協議会からのコメント

回答者の半数以上が「一斉休校の実施で非常に困った、困ったことがある」との回答がありました。  
 どのようなことに困ったのか、各家庭の実態を聞いてみました。



設問3 お子さんのことで困ったことや心配だったことは何ですか？（複数回答可）



<b>外出禁止による運動不足</b>	<b>187 回答</b>	<b>65.2%</b>
部活やクラブ活動がなかったこと	71 回答	24.7%
休校により友達と会えないことへのストレス、心のケア	98 回答	34.1%
<b>学習に遅れが出ること</b>	<b>229 回答</b>	<b>79.8%</b>
進路（就職・進学）への不安	52 回答	18.1%
子どもの日中の居場所、遊び場がないこと	77 回答	26.8%
給食の提供がないこと	110 回答	38.3%
生活環境が変わることによる子ども自身のストレス	100 回答	34.8%
その他	18 回答	6.3%

「学習に遅れが出ること」が困った・心配だったという意見が最多でした。今後また休校になってしまった際には、今、急ピッチで導入準備が進められている「GIGAスクール」の活用が有効であると考えられます。

次いで多かったのが「外出禁止による運動不足」ですが、屋外での運動は感染リスクも低く、推奨されていた面もあったように思います。（子どもが公園で遊んでいると地域からクレームが入ったという報道もあったので、その影響で自粛されたのでしょうか。）

運動不足には、室内でもできる運動も有効です。八雲町立総合体育館や、八雲総合病院リハビリテーション室がコロナ禍における運動不足解消のために様々な情報発信を行っていますので、参考にされてはどうでしょうか。



#### 【八雲町立総合体育館より】

##### ・ラジオ体操の紹介（広報5月号にて紹介）

パソコンやスマホがなくても、テレビやラジオで定期的に放送されているので、誰でも見て取り組むことができます。

##### ・道内関係アスリートによる応援メッセージ（広報6月号にて紹介）

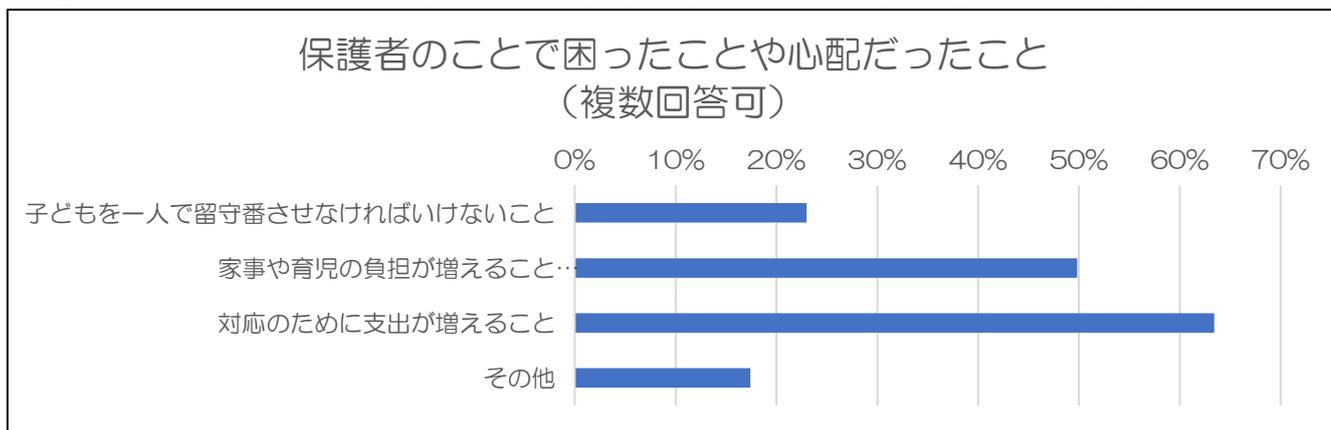
トップアスリートによるコロナ禍でのトレーニング紹介や、メディアを介してリモートでトレーニングする方法について紹介しています。これらは八雲町ホームページ内、体育課のページから見るすることができます。

#### 【八雲総合病院リハビリテーション室】

##### ・フレイル（虚弱）予防のラジオ体操DVD（10月31日付け道新朝刊にて掲載）

作業療法士ら専門職による動きの解説を加えた「ラジオ体操第1」のDVDが作成され、100枚が無料配布されています。同室がYouTubeで投稿している「介護予防講座」の中でも取り上げられているので、ぜひご家庭でもアクセスしご覧になってみてください。（映像・講座へのアクセスは、八雲総合病院ホームページ内、リハビリテーション室ブログから！）

設問4 保護者のことで困ったことや心配だったことは何ですか？（複数回答可）



子どもを一人で留守番させなければいけないこと	66 回答	23.0%
家事や育児の負担が増えること	143 回答	49.8%
対応のために支出が増えること	182 回答	63.4%
その他	50 回答	17.4%

給食の代わりに昼食、を用意する支出が増えたのでしょうか。

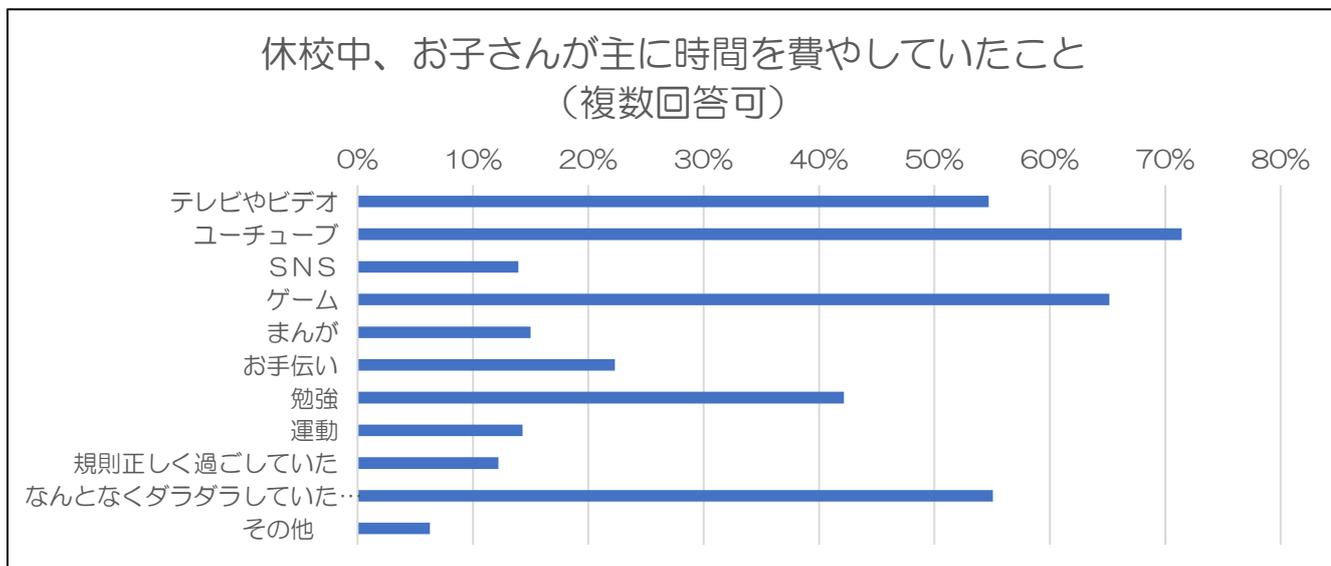
支出は増えたかもしれませんが、その分、特別定額給付金、さらに子育て世帯への追加支援として臨時特別給付金が支給され、支出に対する補てんもありました。



「休校中の子どもの居場所・遊び場に困った」という意見も見られました。今では、様々な感染対策を講じながら、子どもを対象としたイベントや体験教室が町内でも少しずつ動き出してきています。学校を通じて配布される案内チラシや、八雲町ホームページ、広報やくも、新聞等で随時案内されていますので、こうした催しに参加されてみてはどうでしょうか。

また、図書館、体育館、公民館など、子どもが過ごせる町立施設についての開館状況は八雲町ホームページに最新情報が掲載されますので、利用前に確認してみましょう。

設問5 休校中、お子さんが主に時間を費やしていたことは何ですか？（複数回答可）



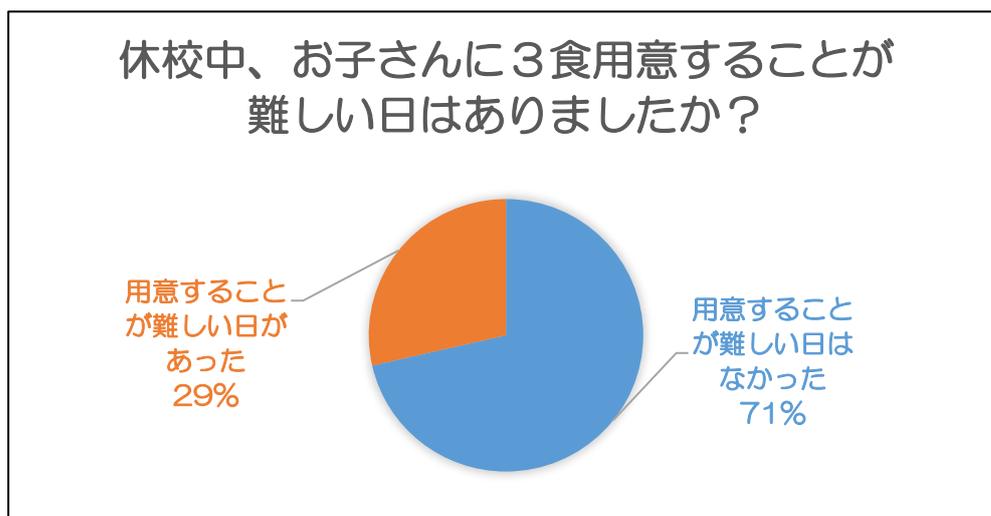
テレビやビデオ	157 回答	54.7%
<b>ユーチューブ</b>	<b>205 回答</b>	<b>71.4%</b>
SNS	40 回答	13.9%
<b>ゲーム</b>	<b>187 回答</b>	<b>65.2%</b>
まんが	43 回答	15.0%
お手伝い	64 回答	22.3%
勉強	121 回答	42.2%
運動	41 回答	14.3%
規則正しく過ごしていた	35 回答	12.2%
<b>なんとなくダラダラしていた</b>	<b>158 回答</b>	<b>55.1%</b>
その他	18 回答	6.3%

【ユーチューブ・ゲーム】

…普段からよく視聴（プレイ）していたが、休校により家にいる時間が長く、保護者の目につきやすくなったのかもかもしれません。  
ゲームに関しては、休校により友だちとなかなか会えない状況の中でも、オンライン通信で交流ができる機会にもなっていたようです。



設問6 休校中、お子さんに3食用意することが難しい日はありましたか？



<b>用意することが難しい日はなかった</b>	<b>205 回答</b>	<b>71.4%</b>
用意することが難しい日があった	82 回答	28.6%

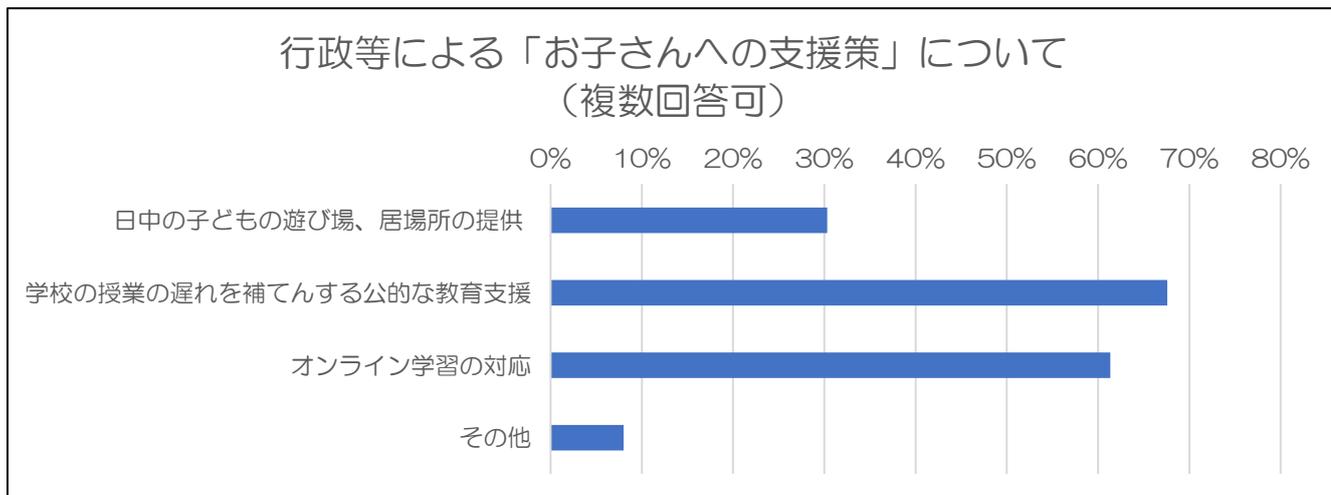
日頃の給食費が無料というありがたみを感じましたよね。金銭的な負担が増えたという意見もありましたが、給付金の支給があり助かりました。

また、保護者の仕事の関係で用意が難しいという意見も見られました。子どもの休校によって休みを取れるかどうかは職場にもよりますよね。子どもがいる家庭に配慮できる社会になってほしいです。



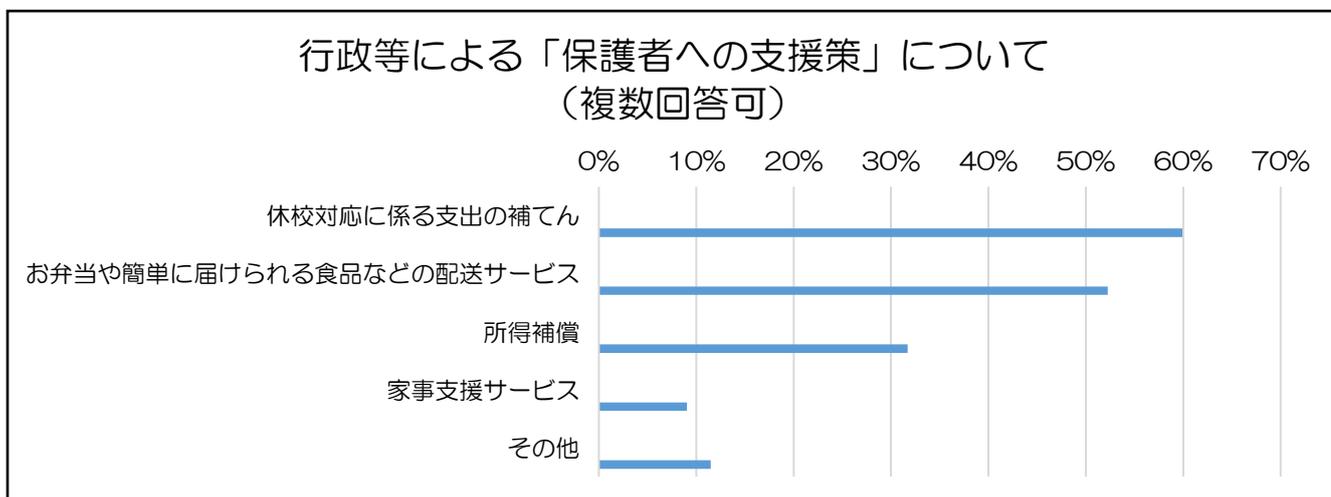
設問7 今後、同様の休校措置が取られたとき、行政等による支援策として、どんなものがあったら助かると思いますか？

【お子さんへの支援】



日中の子どもの遊び場、居場所の提供	87 回答	30.3%
<b>学校の授業の遅れを補てんする公的な教育支援</b>	<b>194 回答</b>	<b>67.6%</b>
オンライン学習の対応	176 回答	61.3%
その他	23 回答	8.0%

【保護者への支援】



<b>休校対応に係る支出の補てん</b>	<b>172 回答</b>	<b>59.9%</b>
お弁当や簡単に届けられる食品などの配送サービス	150 回答	52.3%
所得補償	91 回答	31.7%
家事支援サービス	26 回答	9.1%
その他	33 回答	11.5%

設問8 長期間の休校と不要不急の外出禁止等の生活の中で、最も困ったこと、大変だったこと、不安に思ったことについて（自由記述）

190件に及びご意見をお寄せいただきました。

その内容については概ね次の分野についてです。

- 金銭面に関する困りごと
- 学習面に関する困りごと
  - 学習の遅れに関すること
  - オンライン学習について
  - その他
- 学校のこと
  - オンライン学習について
  - 休校に関して好意的な意見や学校への感謝
  - 授業や学習の遅れに対する不安
  - 宿題や家庭での学習について
  - その他
- 食事のこと
- 子どもの過ごし方のこと
  - 子どもを1人にさせてしまうこと
  - 留守番の心配（子どもの預け先がない）
  - 学童保育について
  - 生活リズムの乱れ、過剰なテレビやゲームの視聴
- メンタル的な側面
- 体力・運動不足

※いただいた自由回答（ご意見）については、ここでの掲載は控えさせていただきますが、匿名とし、学校や学童保育所など、然るべき機関に情報提供いたします。

## アンケートの結果から

全般的に、コロナ禍によって生じた新たな問題というよりは、潜在的にどの家庭もが抱えていた問題が、コロナによって表面化したもののように感じました。（休校中の子どもの過ごし方、学習の遅れや生活スタイルの乱れなど）

休校中の食事の用意、家事、勉強のフォローなど、その負担の多くがお母さんに重くのしかかっています。お父さん、おじいちゃんやおばあちゃん、地域全体でお母さんの負担を軽減していくようにならなければなりません。

また、ニュースは私たちに過剰な不安を煽ってきます。ひとりひとりが正しい情報を得て、それに応じた正しい対応をしていかななくてはなりません。テレビ等で目にするニュースは、都市も地方もひとまとめの情報を流します。八雲町の実態にあわせた情報が必要ですが、八雲町では八雲町感染対策ネットワーク（YIC）が更新しているブログや、感染対策に関する講話映像がYoutubeでも配信されていますので、活用してみたいかがででしょうか。（ブログ、講話映像へのアクセスは、八雲総合病院ホームページ内、YICブログから！）

